

# 7つのまちづくりの方向性 ～分野別の取組～

“しあわせ共感 安心のまち つるがしま”の実現に向け、7つの政策分野ごとにまちづくりを進めます。

## 政策1 安心して暮らせるまち（福祉）

市民誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをつくりまします。

## 政策2 豊かな人が育つまち（教育・文化）

地域が一体となって、未来を担う子どもたちを育み、生涯を通じた学習・文化・スポーツ活動を促進し、豊かな人が育つまちをつくりまします。

## 政策3 いきいきと暮らせるまち（保健）

子どもから高齢者までのすべての市民が、健康でいきいきと暮らせるまちをつくりまします。

## 政策4 活力にあふれるまち（市民生活）

多様な人びとがつながり、誰もが活躍できる、市民参加による活力あふれるまちをつくりまします。

## 政策5 魅力とにぎわいのあるまち（産業・環境）

自然との調和をとりながら地域資源の活用・創出を図り、市に関わるすべての人が魅力とにぎわいを感じるまちをつくりまします。

## 政策6 快適で住みよいまち（都市整備）

生活の質を高める都市基盤の整備や維持管理を計画的に行うことにより、快適で住みよいまちをつくりまします。

## 政策7 経営的視点に立った市政運営（市政運営）

市の経営資源を最大限活用し、“顔”が見える市役所として市民満足度・職員満足度の向上を図り、市民サービスの最大化を目指します。

しあわせ共感  
安心のまち  
つるがしま



《概要版》

# 第6次鶴ヶ島市総合計画

from 2020 to 2029

誰もがお互いを認めあい、共にしあわせを感じられるまち。  
誰もが安心に包まれ、ゆたかに生きていくことができるまち。  
そんな“しあわせ共感 安心のまち つるがしま”の実現に向けたまちづくりが、始まります。

## Q. もっと詳しい内容は？

鶴ヶ島市ホームページをご覧ください。  
<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/>



## 第6次鶴ヶ島市総合計画《概要版》

発行・編集：鶴ヶ島市 総合政策部 政策推進課  
〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1  
TEL：049-271-1111（代表）  
FAX：049-271-1190

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 鶴ヶ島ってどんなまち？



鶴ヶ島市は、明治時代に鶴ヶ島村ができてから、他の自治体と合併することなく発展してきました。昭和後期の人口流入などによって、多彩な人が住むようになり、そこからさまざまな市民活動団体が生まれた『多彩な人と団体に恵まれたまち』です。

鶴ヶ島市には、南西部地域を中心に農地や樹林地、水辺などの武蔵野の原風景が残されています。2つのインターチェンジと3つの鉄道駅がある交通利便性を活かしながらも、自然と調和した土地活用を進めてきた『身近な自然と調和した地の利があるまち』です。

私たちは、こうした“強み”をこの先も引き継ぎ、市に関わる誰もが、将来にわたり豊かな生活を送ることができるまちを目指します。

## まちづくりで大切にする理念

SDGs (エス・ディー・ジーズ) は、すべての国・地域の人びとに共通する2030年までの目標(17のゴール)で、その根底にあるのは「持続可能な開発・発展」という考え方です。これは、私たちのあらゆる面での繁栄を実現するために、将来世代を含めた他の人たちが繁栄するための能力や資源を損なわないようにする、というとても大切な考え方です。私たちは、「持続可能」な社会を目指すSDGsの理念を尊重しながら、まちづくりを進めます。

### 誰もが自分らしく生活できるまちづくり

ユニバーサルデザインの視点に立ち、年齢、性別、障害の有無や国籍などにかかわらず、誰もが自分らしい生活ができるように、まちづくりを進めます。



### 連携・協働によるまちづくり

市民や地域の団体をはじめ、産業界、教育機関、金融機関などと幅広く連携・協働しながら、まちづくりを進めます。



### Q. そもそも総合計画って何？

総合計画とは、これからの鶴ヶ島市をどのようなまちにしていきたいのかを描いた、まちづくりの指針です。基本構想・基本計画・実施計画の3階層になっています。

#### ① 基本構想 (10年間)

市の将来を見すえ、おおむね10年先の目指すべき市の方向性を示すものです。

#### ② 基本計画 (5年間)

前期・後期それぞれの5か年の取組を体系化したものです。

#### ③ 実施計画 (3年間)

基本計画に基づき、具体的な実施事業をまとめた3か年の計画です。



# 3つの重点戦略 ~特に力を入れる3つの取組~

## 重点戦略1 子どもにやさしいまちづくり

未来を担う子どもたちのためには、子育てがしやすく、子ども自身も楽しめる環境が何よりも大切です。子育て世帯を中心とした若い世代に選ばれ、住み続けてもらうことはもちろん、子どもたちが一度市外へ出たとしても「将来、自分が子育てするときには、また鶴ヶ島に帰ってきたい」と思えるまちをつくりたい。



## 重点戦略2 いつまでも健康でいられるまちづくり

心身の健康は、何ものにも代えがたい大切なものです。住む人が健康でいることで、まちそのものが健康になります。人生100年時代といわれる中、いつになっても元気で、生涯にわたり健康で暮らせるまちをつくりたい。



## 重点戦略3 多様な働き方が実現できるまちづくり

“しごと”は、生活の基盤を築き、社会とつながり、より良い暮らしを実現するために欠かすことができないものです。生活が多様化している中、求められる働き方もさまざまですが、誰もが自分に合った働き方を実現できるまちをつくりたい。

